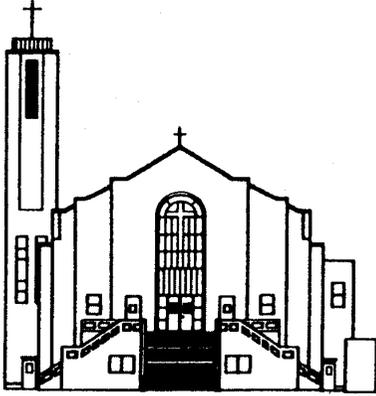


四月号

田園



(No.716. 2025.4.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

アレルヤ 主イエス・キリストは復活されました！

助任司祭 アントニオ金東炫神父



主のご復活、おめでとうございます！

今年も私たちは主イエスの復活祭を迎えました。この日、私たちは死に打ち勝ったイエス・キリストの勝利を祝い、イエスの過越の神秘にあずかる恵みによって、新たな希望と喜びに満たされます。

しかし、私たちが生きる今の世界は不安定な状況が続き、戦争や紛争、社会の分断、経済的不安、環境問題、そして個人個人の心の痛み——さまざまな困難が、私たちの前に立ちはだかっています。このような世界において、イエスの過越がもたらす意味を、改めて味わいたいと思います。

イエスの過越は、「光」「一致」「希望」という救いの道を私たちに示しています。イエスは十字架上で苦しみ、死に打ち勝ち、

復活されました。この勝利は、単なる出来事ではなく、私たちの生き方そのものに深く関わるものです。

現代社会には、闇に包まれたような状況が多く存在しています。しかし、イエスの復活は、どのような闇の中にも必ず光が差し込むことを示しています。たとえ希望を見失いそうになっても、復活されたイエスの光は私たちを照らし、再び歩み出す力を与えてくださいます。

また、イエスの過越は、分裂から一致へと導く力を持っています。現代社会では、価値観や意見の違いから対立や争いが度々起ります。しかし、イエスはすべての人を三位の交わりへと招き、私たちが「一つ」になるよう導いてくださいます。

さらに、イエスの過越は、絶望の中にある人々に希望をもたらします。イエスが死に打ち勝ったように、私たちも人生の苦しみや困難の中で希望を失うことなく、前に進む勇気をいただきます。どんなに困難な状況にあっても、神は私たちを決して見捨てず、常に共にいてくださるのです。

イエスの復活の恵みのうちに教会共同体においても私たち一人ひとりにおいても、互いの違いを認め合い、共に歩む心を持ち続けましょう。そして、その光を家庭や職場、地域社会へと広げ、希望と平和の道を共に歩んでまいりましょう。

すべての人がイエス・キリストの勝利にあずかり、復活された主の光を受けて新たな歩みを始めることができますように。



二十歳のつどいに 110115

【感想文】

成人式をむかえて

マリア・セシリア I・Y

一月十二日（日）、「二十歳のつどい」が行われました。竹内主任司祭司式による新成人九名をお祝いするミサが行われ、信徒の皆様が見守る中、祝福を受けました。

先日の二十歳の集いでは皆様にお祝いでいただき、とても嬉しいひとときでした。どうもありがとうございました。

その後、ささやかながら祝賀会を開催いたしました。希望と夢にあふれる新成人が笑顔でいっぱいだったのが印象的でした。無事成人を迎えられたことの感謝のうちに、これからも神様にお守りいただきたくさんのお恵みと導きがありますよう心からお祈りいたします。

教会委員会 M・A

私は小さい頃から、絵を描いたり、紙や布で何かを作ることが好きでした。今は美術大学でテキスタイルデザインを学んでいます。自分の好きなことを自由に追求できる環境にいることはとても幸せでありがたいことだと改めて思います。

中学生の時、教会のイースターのエッグハントのポスターを描かせていただく機会がありました。それ以来、フランシスコ祭の絵画やコンサートのポスター、昨年はイースターの大ろうそくの絵付けを担当させていただきました。私の描いたものを皆様に見ていただき喜んでいただけるとはとても嬉しく、創作の楽しさを改めて感じる



モチベーションにもなっています。自分の
できることで教会活動のお役に立てるとい
うことはそれ自体が大きなお恵みなのだ
と思います。

二十歳を迎え、これまで私を支え見守っ
てくれた家族、先生方、友人たちに心から
感謝します。これからも自分の道を大切に
しながら、感謝の気持ちを忘れずに歩ん
でいきたいと思っています。



成人式を終えて

使徒ヨハネ N・H

教会での成人式の参加は、正直ハードル
が高かったです。というのも、中学に入っ
てから部活動やコロナ時期を経て大学受験
と忙しく、教会から足が遠のいていました。
そんな私が参加するのは少し緊張していま
した。

ところが、思いがけずたくさんの方に手
作りのお祝いをしていただき、とてもあり
がたく思いました。ホールでのお祝いは、
教会学校の時代を思い出させてくれました。
温かい歓迎は心に沁みました。

今は成人したとはいえ、半人前な状態で
す。これからの人生で何回こけても、教会
は見える形でも、見えない形でも支えてく
れると改めて感じました。まだまだ時間は
かかるかと思いますが、私もそうやって支
えていくことができるように頑張りたいと
思っています。

最後にいろいろな形で成人式の準備や開
催をしてくださいました方々に心より御礼
申し上げます。



二十歳を迎えて

セシリア K・A

この度は皆様にお祝いいただき、本当に
ありがとうございました。私は0歳で幼児

洗礼を受け、侍者会や教会学校、中高生会と多くの時間を教会で過ごししてきました。大学生になってからは教会学校のリーダーという形で関わらせていただき、田園調布教会は初めから今に至るまで私の人生の中でとても大切に特別な場所です。

生まれた時からお見守りくださった神様や神父さま、シスター方をはじめ、教会の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

教会で出会えた友人は、年齢も学校も関係なく、今までの歩みを共にしたかけがえのない存在です。このような場所で成人式を迎えることができたことはお恵みだと心から思います。

今後は二十歳を迎えた大人として、この教会により貢献できるよう努めてまいります。これからもよろしくお願ひいたします。

図書室よりお知らせ

図書室は毎月第一、第二、第三日曜日の九時から十三時まで開けております。

どうぞ御利用下さい。又、お手伝いくださる方を募集しております。受付か図書係まで御連絡下さい。

◎老いの力 佐藤愛子

◎第二怪奇小説集 遠藤周作

◎犬養道子 自選集一 犬養道子

図書係 I・J

【新着図書のお知らせ】

◎三部作 ヨン・ホッセ

◎預言者 カリール・ジフラン

佐久間彪訳

◎バチカンの素顔 バート・マクダウエル

◎秋のカテドラル 遠藤周作

◎九十八歳 戦いやまず日は暮れず

佐藤愛子



2025年 地区 集会 カレンダー (注:8月は休み)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|--|--|--|---|---|
| 第 1 週 | | | 13:30～ 偶数月 (2・4・6・ 10・12月) 【等々力地区】 【洗足地区】 | 13:30～ 偶数月 (2・4・6・ 10・12月) 【田園調布4丁 目・本町地区 鵜の木地区】 | | |
| 第 2 週 | | | | | | |
| 第 3 週 | | 13:30～ 奇数月 (1・3・5・7・ 9・11月) 【田園調布1・2・ 3・5丁目地区】 【尾山台地区】 | | | | |
| 第 4 週 | | | | 13:30～ 偶数月 (2・4・6・10・12 月) 【横浜地区】 | 13:30～ 奇数月 (1・3・5・7・9・ 11月) 【目黒 ・世田谷地区】 【奥沢 ・東玉川地区】 【多摩川地区】 | |

※各地区集会在新しい日程で再開されました。

(神父様の講話のあと、各地区に分かれて分かち合いを行います)

※当教会所属の信徒の方、未信者の方、どなたでも参加できます。

また、地区の集会日に都合がつかない場合は他の集会に参加することができます。

※参加を希望される方は、信徒会館受付にお申し出ください。

◀ 当日直接のご参加も歓迎 ▶

俳句

泥団子並ぶ砂場や土佐水

ヒヨンの笛吹けば哀しき祖母の家

マグダレナ・マリア・ソフィア O・H

蝉骸虚ろ眼に空遠く

(せみむくろ うつろまなこに)

そらとおく

罌雲茜さしたる摩天楼

(いわしぐも あかねさしたる)

まてんろう

秋弥撒や柔き日をして主の祭壇

(あきみやや やわきひをして)

しゅのさいだん

ヨゼフ K・A



さざ波や光の春の生まれたて

マリア・セシリア I・K

ものの芽や小さき命の動き初む

エリザベート S・T

※今後の俳句の提出期限は
六月十日(七月号)、
九月十日(十月号)、
十二月十日(二月号)です。
提出先…受付脇「田園」引き出し

修道院だより

ブリュッセル『イエスの小さき兄弟会』

文・写真 舟橋 倫子

田園調布教会のみなさま、こんにちは。
舟橋倫子です。ベルギーの修道院の勉強を
しております。只今は縁あってブリュッ
セルにある『イエスの小さき兄弟会』の本
部に滞在しています。この度、『田園』に修
道院だよりを書かせていただくことになり
ました。どうぞよろしくお願い致します。



【 修道院前のプレート 】

ベルギーは国教がカトリックということもあって、たくさん修道院があるので、その活動は実に千差万別です。その中から、まずは、今私がいる『イエスの小さき兄弟会』を紹介させていただきます。

「世界で一番美しい広場」と言われるグラン・プラスで有名なブリュッセルの修道院というと、「きれいでおしゃれ」という印象を持たれる方が多いかもしれません。しかし、修道院のあるクレマンソーという場所は南駅の裏側にあたり、ブリュッセルでも一番危険な界隈の一つなのです。

ブリュッセルは南北を縦断するセンヌ川沿いに中世から発展した都市です。王族の結婚式が行われる壮麗なサン・ミッシェル大聖堂や王立美術館などがある川の北側には台地が広がっていますが、南側は低湿地帯で度々洪水に見舞われてきました。そのため地価が安く、貧しい人々や移民が多く住む地域となってきたのです。

最近では不法移民と麻薬取引の問題が深刻化し、先月は麻薬をめぐる抗争が四回もの銃撃戦を引き起こして多数の死傷者が出てしまいました。現場となったメトロの駅の周辺は今も警察官と装甲車があふれております。そんなところになぜこの会の本部があるのでしょうか？それは「あらゆる人の友として生きる」という会の理念があるからなのです。



【お御堂の様子…キリスト像はシスター達の手作り】

この会の創始者であるシャルル・ド・フーコーは、一八五八年にフランスで生まれました。シトー会に入会して司祭となりました。彼はサハラ砂漠に赴き、そこに暮らすトゥアレグ族の友として暮らすようになりました。奴隸制と共にたたかい、彼らの文化に深い感銘を受けて叙事詩を集め、辞書を編纂します。しかし、第二次大戦中にトゥアレグ族の一人によって裏切られ暗殺されてしまいました。

彼の死後、どんな状況においてもあらゆる人の友となるという彼の理念を受け継ぐ人たちによって、この『イエスの小さき兄弟会』が作られ、現在に至っています。全世界、特にアフリカ、インド、中南米の貧しい地域社会の人々と共に働いて暮らしている兄弟たちの中心となるのがこのブリュッセル本部です。

ここに滞在することで、「あらゆる人の友として生きる」という彼らの生活を身近で見ることができません。誰に対しても門戸を

開き、何も押し付けず、常に静かなほほ笑みと底抜けの明るさでもって相手を受け入れ、ともに語り、食事をし、祈る。何が起ころうともぶれない彼らの芯の強さが、相手に大いなる安心感と信頼感を与えます。

本部に在駐しているのは、総長のジュリアーノ修道士と副総長の二人の司祭たちですが、全世界の兄弟たちに加えて、ここには様々な人々がやってきます。近所にすむモロッコ人が滞在許可証の延長について相談に来たり、イスラム教徒の子供たちがお菓子を食べに来たり、中国人がお御堂での祈りに参加したり、他の修道会のシスターが夕食に参加することもあります。最近まで、ウクライナの女性たちが滞在していました。

この建物が本部となったのは、六十年ほど前のことです。もともとはシスター達が住んでいました。彼女たちは、第二次世界大戦中に近所にすむユダヤ人の親子たちをかかまっていたのですが、ある日密告によ

って子供たちが収容所に連れていかれることになってしまいます。シスターたちは、彼らが連行されてしまうことが分かった時に、なんとか子供たちを逃がそうと一計を案じます。まず、子供たちを逃がし、自分で自身の体を縄で椅子に縛り付けました。



【 総長のジュリアーノ修道士 】

そしてやってきたナチスに自分たちは彼らに縛られて動かなかつたから通報できなかったと嘘をついたのです。彼女たちのおかげで十四人の子供たちは全員無事に逃げることができました。その後で『イエスの小さき兄弟会』が財政難に陥ったシスター達からこの建物を買い取って本部としたのです。

戦後、子供たちの一人がこの場所を訪れ、ジュリアーノ修道士に自分たちの命があるのはシスター達のおかげだという話をしてくれたそうです。今でも、このことを記念するプレートが玄関の横に掲げられています。



<信徒連絡会> 2025年1月～3月

※文中敬称略

行事・予定

- | | |
|----------|---|
| 1月19日(日) | 信徒連絡会、餅つき大会、ローテーションミサ（上野毛教会 ウィリー神父様） |
| 1月26日(日) | 田園調布地域諸教会合同祈祷会（日本基督教団田園調布教 会） |
| 2月 2日(日) | 教会委員会 |
| 2月 9日(日) | 信徒連絡会 |
| 3月 2日(日) | 教会委員会 |
| 3月 5日(水) | 灰の水曜日（7時、19時ミサ） |
| 3月16日(日) | 信徒総会（9時ミサ後） |
| 3月23日(日) | 四旬節黙想会（9時：講話と分かち合い 11時：ミサ） |
| 3月30日(日) | 叙階ミサ 菊地枢機卿司式 15時 |
| 3月28～30日 | フランシスコ会全国侍者会 |
| 4月13日(日) | 受難の主日（枝の主日） |
| 4月17日(木) | 聖木曜日 |
| 4月18日(金) | 聖金曜日 |
| 4月19日(土) | 復活徹夜祭 |
| 4月20日(日) | 復活の主日 幼児の洗礼式 |

各会報告など

典礼委員会

1月

- 1) 皆さまのご協力のおかげで、ご降誕の夜半のミサを無事終了することができました。皆さまに感謝いたします。

1月・2月

- 1) 今年の四旬節は3月5日の灰の水曜日から始まります。3月2日(日)に灰づくりをいたしますので、それに先立つ2月16日(日)、23日(日)、3月2日(日)の3週にわたって昨年持ち帰った枝の回収をいたします。皆さまのご協力をお願いいたします。

2月・3月

- 1) 3月30日(日)に当教会で小見戸助祭の司祭叙階ミサが行われます。皆さまのお祈りと一人でも多くの方のご参加をお願いいたします。
- 2) 本年は聖年です。5、10月にロザリオの祈りを行います。
5月：11日 8：20～8：50、25日 10：20～10：50
10月：12日 8：20～8：50、26日 10：20～10：50

財務財政委員会

1月

- 1) 昨年度の決算報告、本年度の予算申請にご協力ありがとうございました。取りまとめが完了次第教会員会承認手続きを行います。

2月

- 1) 昨年度の教会全体の決算が終了し、一昨年度に引き続き厳しい財務状況となっております。活動会の皆さまには、昨年度は使用予算の節約、見直しにご協力頂きまして、誠にありがとうございました。今年度はより厳しい予算内での活動をお願いしておりますが、以前に買ったものを活用するなど、安定的な財務運営に向けて何卒ご理解とご協力の程、宜しくをお願いいたします。

3月

- 1) 種々の老朽化含め、維持管理には特に費用がかさんでおります。月定献金、ミサ献金などへのご理解、ご協力をよろしくをお願いいたします。

福音宣教委員会

1月・2月

- 1) 2月7日金曜日10時より、クララ聖堂にて初金ミサを行います。竹内神父様にミサをあげていただき、その後聖年についての簡単なご講話をいただきます。
- 2) 受付に置かれている2025年聖年の東京教区巡礼指定教会パンフレットについても、ご参照ください。

2月・3月

- 1) 復活祭当日または前日に、イースター向けイベント(エッグハント、ロザリオ作りワークショップ、お楽しみゲーム、玉子絵付け)を企画します。教会学校、ガールスカウト、ボーイスカウト、ラムズヴォイスの共同企画になります。奮ってご参加ください。

福祉委員会

1月

- 1) 愛の基金から海外宣教委員会と久が原子供寮の自立支援に寄付を実施いたしました。
- 2) 福島野菜の販売を、昨年の偶数月から2025年は奇数月の第四日曜日に変更いたします。販売は7時半ミサ終了後からとなります。朝7時より荷下ろし及び販売のお手伝いへのご協力も引き続きお願いいたします。

2月

- 1) 1月26日 野菜販売へのご協力ありがとうございました。次回3月2日の予定です。引き続きご支援よろしく申し上げます。尚、スタッフを募集いたします。ご興味ある方はご連絡願います。

3月

- 1) 3月2日に野菜販売を実施いたします。引き続きご支援よろしく申し上げます。
- 2) 暑さを考慮して1か月前倒しし、6月8日にふれあい福祉バザーを実施予定です。コロナ禍前は外部の福祉団体を中心に出店を行ってまいりましたが、昨年においては、コロナ後の再開にあたり、当教会における信者間相互の交流を深めるという趣旨に沿い、当教会における福祉団体及びこれらの団体に支援を行っているグループを中心に出店いたしました。今年も同様の方針で実施する方向で考えております。

バザー委員会

1月・2月・3月

- 1) 本年度も11月23日(日)に開催予定です。より良きバザーになるため皆さまのご意見などお寄せ願います。

環境部会

1月・2月

- 1) 今年も中庭、ルルドの夏みかんの収穫と配布を行いました。
1月18日(土)に、配布を希望される活動会の方々のご協力をいただき、例年より多い660個を収穫できました。ありがとうございました。
翌19日(日)に信徒の皆さまに配布いたしました。その際にいただいた献金は、教会の会計に納めさせて頂きました。

2月

- 1) 1月26日(日) 9時ミサ後に教会内外の落ち葉掃きを実施。大学生の方々にも奉仕(15名ほど)をいただき、教会内外をきれいにすることができました。今後も機会があれば落ち葉掃き、中庭の手入れなどをミサ後に行うことで活動の輪を広げられればと思います。

3月

- 1) 南側樹木の伐採について

2月に近隣の方から教会受付に南側の樹木について枝が道路に落ちてくるのではないかと心配の声をいただきましたので施設部会に連絡し、高木処理の際に大きめの枝を落とすことにいたしました。老木が増えてきましたので、土手の保全、通行の安全を第一に、環境整備に努めます。

施設管理部会

1月

- 1) 大聖堂の空調更新修理を完了しました。

3月

- 1) 高木処理につきまして、作業内容を検討し、二つの業者に見積もりを依頼中です。3月中に業者を確定させ、4月に作業できるよう進めております。
- 2) 信徒会館3階の大聖堂につながる通路の扉のロックが故障してしまいましたので修理を依頼しております。修理完了までは、主日のミサの間のみドアを開放し、それ以外の時間帯は開かないようにしております。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。
- 3) 大聖堂の空調修理
再度電気関連の修理が必要となりました。

オルガン部会

2月・3月

- 1) 今年度の部会としての活動計画を検討していく際に、教会委員会と司祭団のために今一度オルガンの現状をガルニエさんにお話いただく機会を作って頂き、教会としてもオルガンの維持管理を検討しております。また、コーヒースンデーの際に募金箱を置くこととしましたので、併せてご協力お願いいたします。

検討事項、経過事項など

1) 黙想会 (12/15)

古里神父様のご指導のもと、降誕祭に向けてよい祈りの時間が作れたものと思います。

分かち合いのファシリテータとしてご協力くださった皆さまには感謝いたします。

2) 大掃除 (12/22)

皆さまのご協力のもと完了いたしました。

3) 二十歳のつどい

1月12日(日)11時ミサで「二十歳のつどい」のミサとミサ後にお祝いの会(茶話会)を行いました。

今年の参加者は9名、(茶話会参加9名)です。ミサ後ホールにてお祝い会をおこないました。皆さまご協力ありがとうございました。おかげさまで無事滞りなく行うことが出来き、また新成人の皆さまにも喜んでいただけました。

4) 餅つき (1月19日)

教会学校、ボーイスカウト、ガールスカウト中心に行きます。会に所属していない子供たちも声掛けします。2つの幼稚園にチラシを配布し、想定以上の来場者がありました(100人超)。

受付票59件: 小さき花42件、天使幼稚園1件、他16件

興味あり: 17(教会学校8、ボーイ7、ガール2)

5) 2025年度予算申請

別途財務財政委員会より提出された当該予算の承認を行いました。

6) 田園調布地域諸教会合同祈祷会 (1/26 14:30~)

金神父様のご説教を含めた合同祈禱会は、8教会77名の方々が参加されました。

ロゴス点字図書館を含めた5団体へ集まった献金を送りました。

来年は、田園調布教会が会場となります。

- 7) 地区集会新旧引継ぎ会 1月29日(水) 13:30～
各地区の世話役の自己紹介と昨年度の活動報告を受けました。
その中で、地区が統合するケースが2件ありました。また 横浜地区が再開することになりました。
地区集会について広くお知らせする目的で、今年も新人歓迎会に参加して、どなたでも都合の良い集会に参加できることを案内したいとのことです。
また、ミサ後のアナウンスやハガキ案内の発送は地区それぞれで決めて当たることになりました。
教会委員会としては地区集会のカレンダーを掲示板に貼り、HPと「田園」に載せる予定です。
- 8) 倉庫整理 (外部倉庫、104号室)
荷物の所有者がはっきりしない物、明らかに古くなっている物が散乱しています。各会などで整備をお願いします。放置されていると判断できるものは破棄させていただきます。
また各会に個別にコンタクトをさせていただいております。保管スペースに限りがありますので、引き続きご協力の程をお願いいたします。
107号室も整理しました。
- 9) 信徒総会 (3/16) の開催時間変更
9時:ミサ、10時:信徒総会、11時ミサ に変更承認いたしました。
理由:11時ミサのつもりで来る方がいる。2ミサを統合すると参列者が多くなる。
- 10) 四旬節黙想会 (3/23)
清永神父様をお迎えし、分かち合い、ゆるしの秘跡なども行います。
- 11) 新人歓迎会 (5/25)
案内はがきを4月初めに発送予定。昨年5月～本年3月までの受洗者、転入者が対象です。

次号 (田園7月号) は7月初旬にオフィシャルサイトに掲載予定です。

★ 田園」を紙面 (印刷物) だけでご覧頂いている方へ ★
カトリック田園調布教会オフィシャルサイト <https://catholic-denenchofu.jp/>
のトップページ上部メニュー「今週のお知らせ/田園」
又は「今月の司祭の言葉/信徒連絡会・田園」などからご覧頂けます。